

各関係機関長 殿

岡山県病虫害防除所長

病虫害発生予察情報の発表

病虫害発生予察特殊報第1号を下記のとおり発表したので送付します。

令和4年度病虫害発生予察特殊報第1号

令和4年6月14日

岡 山 県

1. 病虫害名 クロテンコナカイガラムシ *Phenacoccus solenopsis* Tinsley
2. 発生作物名 ナス
3. 特殊報の内容 岡山県での初発生を確認
4. 初発生確認月日 令和4年5月19日
5. 発生確認場所 岡山県南部
6. 発生面積 7a
7. 発生状況

令和4年5月19日に、岡山県南部の施設ナスほ場において、ナスにコナカイガラムシの寄生が認められた（写真1）。神戸植物防疫所に同定を依頼したところ、本県未発生のクロテンコナカイガラムシと判明した。

国内ではこれまでに、沖縄県（スイゼンジナ、ヒマワリ）、佐賀県（ナス）、福岡県（ミニトマト、ナス）、愛知県（食用トレンシア、食用金魚草）、山口県（トマト）、高知県（ナス）、鹿児島県（ミニトマト）、大阪府（ナス）、奈良県（ホウレンソウ）、長崎県（ナス）、京都府（トマト）、愛媛県（ナス）で発生が確認されている。

8. 形態・生態

雌成虫は翅を欠き、体型は楕円形である。体長は通常3～4.2mm程度で、大きい個体は5mmを超える。背面に白色のロウ質物を分泌するため、全体としては白く見えるが、ロウ質物は亜中央部で薄くなるため、2対の黒斑があるように見える（写真2）。また、雄成虫は1対の翅を持つ。

成虫はワタ状のロウ質物の卵のう内に平均で350個程度産卵する。繁殖様式は、交尾後産卵する有性生殖と雌成虫が交尾せずに産卵する単為生殖の両方が知られている。本種の単為生殖個体群における1世代の発育期間は平均70日程度である。

9. 被害

生長点付近を中心とした茎葉に寄生し、分泌した甘露からすす病を生じる。広食性で、海外ではワタ、オクラ、トマト、ナス等53科154種の植物に寄生することが確認されており、寄主植物は雑草から作物まで広範囲にわたる。

10. 防除対策及び参考事項

- （1）発生ほ場では、被害を拡大させないために、寄生部位を早期に除去し、ほ場外に持ち出して土中に埋めるなど、適切に処分する。

- (2) 本虫は雑草にも生息するため、ほ場内外の除草対策を徹底する。
- (3) 薬剤による防除については、発生を確認後、早期に散布を行う。なお、コナカイガラムシ類でモスピラン顆粒水溶剤の登録がある。



写真1 ナス果実の被害



写真2 雌成虫と幼虫

この情報は、岡山県病害虫防除所ホームページでも公開しています。アドレスは、
<http://www.pref.okayama.jp/soshiki/239/> です。

